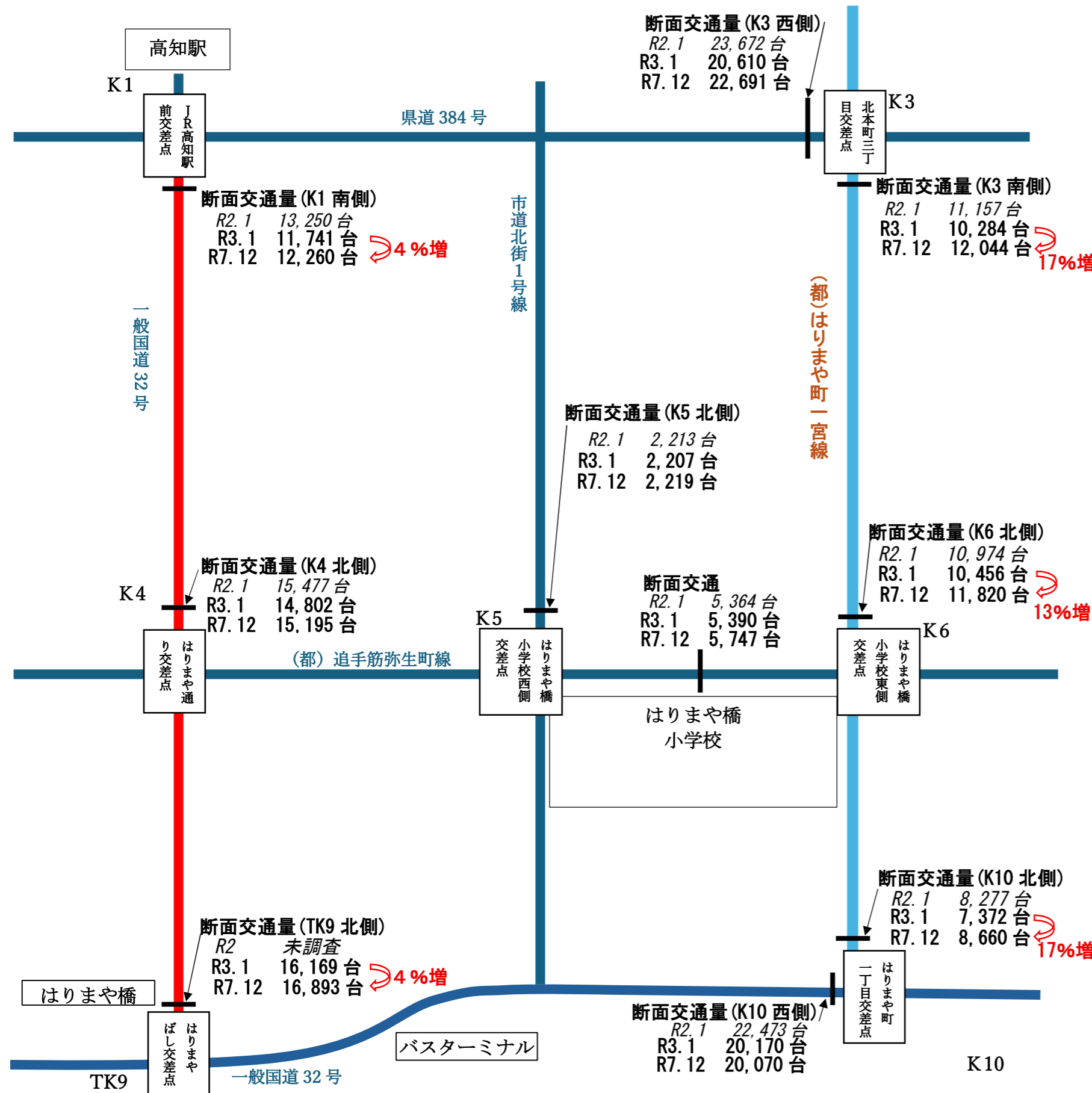


(都) はりまや町一宮線外交通量調査

○調査日：令和7年12月11日(木)

○調査時間：7:00~19:00(12時間)

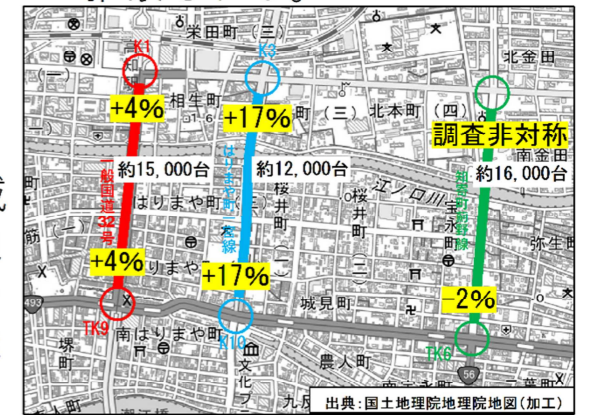


南北交通量 (令和3年1月データとの比較)

一般国道32号	4%増加
(都) はりまや町一宮線	17%増加
(都) 知寄町薊野線	2%減少

・南北主要3路線のうち、はりまや町一宮線の交通量増加率が最も大きく(17%)、国道32号および知寄町薊野線からの交通流のシフトが生じているものと推察される。

・3路線の交通量比率においては、はりまや町一宮線の占める割合は最も小さい。(約12,000台)  
・他2路線のR3調査以降の増減傾向を考慮すると、今後も交通の流れが段階的にはりまや町一宮線へシフトしていくものと推察される。



渋滞長 (はりまや橋小学校東側交差点)

はりまや橋小学校東側交差点では、最大滞留長が南向き140m (R3調査比40m減少)、北向き50m (R3調査比120m減少)となった。いずれも滞留は確認されたものの、渋滞の発生には至っていない。

・令和7年4月の4車線供用開始により、当該区間では交通流の円滑化が一定程度図られていると推察される。

